

日光市公共施設適正化推進市民委員会会議録

件名	令和3年度第2回日光市公共施設適正化推進市民委員会会議		※11回目会議
日時	令和4年3月25日(金)	15:00~16:10	作成日 令和4年3月29日
場所	日光市役所 本庁舎3階 大会議室		記録者 資産経営課 加藤
出席者			
<日光市> 資産経営課長：星 資産経営課公共施設マネジメント係長：高野 資産経営課公共施設マネジメント係職員		<市民委員会メンバー> (出席委員、アドバイザー名簿別紙) ※アドバイザーはオンラインでの参加 (敬称略)	
議事内容			
<p>■配布資料 令和3年度第2回市民委員会会議次第、資料1、資料2</p> <p>■議事録</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 副市長挨拶</p> <p>3. 議 事</p> <p>○委員長 「それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。」</p> <p>(1) 令和3年度公共施設マネジメントの進捗状況（前半部分：モデル事業の経過報告及び個別施設等の経過報告）について事務局より資料を用いて説明。</p> <p>○委員長 「ただいまの説明内容につきましてご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」</p> <p>○委員1 「藤原総合文化会館については、今は具体的な方向が見いだせないということで今日に至っている。市役所や地元の皆さんが今後の跡地活用を真剣に考えていることは重々承知しているが、春が来て観光地として勢いづく季節となっており、大切な時期に来ているが、進まない理由としては何がネックになっているのか。その辺を具体的に考えていかないと時間が経ってしまうだけである。今後についてどのように考えているのか。」</p> <p>○事務局 「藤原文化会館は令和2年より休止しており、地元の専門部会とは跡地活用の方向性をしっかり決めるということになっている。この資料にも記載してあるが、休止した時期から観光客向けにアンケートを実施することとしていた。しかし、コロナの影響により、時期を逸することになってしまったが、コロナ感染者数が下火となった今年度の11月から1月にかけて実施をすることができたため、その結果を集計し、今後は更にスピード感をもって地元の検討専門部会と調整を図っていきたいと考えている。」</p> <p>○委員1 「ただ今の事務局の説明で考えたのだが、仕事の関係でよく鬼怒川方面に行くのだが、駅前は何んとも寂しい感じがする。個人的な考えとなるが、あそこは古くからの温泉地区なので、温泉旅館組合等の考えもあると思うので、アンケートの結果は個人の意見として、そこは分別して考えていくとよいと思う。過去のデータを精査して早めに問題解決に繋げて欲しい。」</p> <p>○事務局 「藤原総合文化会館の跡地利活用については、遡ると、跡地利活用についてはここで何ができるのかという課題的なところはぼんやりとしていた。日光総合会館は日光東照宮等の近くということもあり駐</p>			

議事内容

車場が担保されていないといけないという課題があった。しかし、藤原総合文化機関においては、捉えておかななくてはならない課題が具体的になかったというところ。では、どのような活用ができるかというところで、皆さん様々な考えがあると思う。まず、鬼怒川温泉という全国的に名の知れた観光地の駅前で観光的な視点は外せないだろうということから、方向性を持っていくうえでも観光客に実際に何が足りないかを具体的に意見をいただいたうえで、検討していくのも有りかなというところ。一旦アンケートを実施したところである。その意見は活かしていきたいと考えている。とはいえ、休止から2年を経過し、地元からもいつまで建物を残しておくのかという声もあることから、観光情報発信センターは残すということは了解を得られているので、今後は、例えば技術的に可能であれば、耐震化済みの観光情報発信センターのみ残して解体、解体した部分を暫定的に駐車場として利用しつつ今後の方向性を決めていく。このようなことも視野に入れていきたいと考えている。今後、検討が再開した際にはまた改めて丁寧に説明していきたい。」

○委員1

「了解した。」

○委員長

「他にご意見やご質問等ございませんでしょうか。無いようでしたら、西尾先生にご意見いただきたいと思えます。よろしく申し上げます。」

○西尾アドバイザー

「令和3年度の進捗状況ということで、非常に今年度もよく取り組んでいるなど感じた。文化会館も関心が高く、難しい問題であると思うが、着実にステップアップしているという印象を受ける。今後、市民委員会を設置し、文化会館全体としての在り方を考えていくということだが、ある程度専門家からの知見も必要であるとする。新たなデザインや事業手法もあると思うので、そういったことを踏まえながら検討を進めていけるとよりいいかなと思う。

また、個別施設等の経過報告では、今年度9施設廃止及び譲渡ができているが、これまで非常に他の自治体では手が付けられない施設に関するも着実に取り組んでいるということがわかる。先ほどの副市長さんからの挨拶にもあったとおり財政が非常に厳しいという背景もあるとは思いますがとても評価できることである。どうしても施設を廃止・統合していく側面が重要になってくるが、それと同時に、「縮充」という言葉があったが、市民サービスをできるだけ維持していくとか、向上させる、満足度を高めるということは必要になってくると考える。

お話を聞いていた中で、学校の統廃合の中で、閉校が決まった後、交流学习会の実施するようになった等、交流という側面でよい面が出てきていると思うので、施設を統合することでいいことがあったというソフト面でのプラスになったことをもっと具体的に出していても良いのでは。

小来川たんぼぼ広場を小中学校の中に入れたことも非常に良いと思うので、実際の市民や児童の声を具体的に紹介していくとより良いのではないかと考える。」

○委員長

「では、次に後半部分：求められる新たな工夫及び今後の展開 につきまして事務局より説明をお願いします。」

○事務局

後半部分：求められる新たな工夫及び今後の展開 について資料を用いて説明。

議事内容

○委員長

「レインボーカラーのPRは数千円でできたのはなぜか。」

○事務局

「PRを実施した所管課からは、文化会館で使用していた余ったカラーフィルムを使用したことで費用を抑えられたと聞いている。」

○事務局

「補足で、この他にもコロナ禍における医療従事者のための応援メッセージということでブルーのライトアップも実施した。」

○委員長

「他にご意見やご質問等ございませんでしょうか。無いようでしたら、西尾先生にご意見いただきたいと思えます。よろしく申し上げます。」

○西尾アドバイザー

「民間提案制度について今年度は3件を採択したということだが、この制度が定着してきていることがわかり大変嬉しく思う。民間提案制度による期待される効果が資料に記載してあるが、先ほどと同じ話になってしまうが、どういう効果があったかを具体的にみせた方が良いと思う。こういうことを提案したことでこういう結果に繋がったということを見せることで理解にも繋がり、他の事業者も手を挙げやすくなり、それによってまた新たな提案にも繋がると思う。ネーミングライツは非常に残念であった。もしかしたら企業側でイメージができていないかもしれないので、事例等を公開する等の工夫をし、1件でも応募に繋がっていただきたい。」

○委員長

「資料に記載されている、民間提案制度のグループ企業とはどういう位置づけなのか。」

○事務局

「グループ会社と一緒に一つの事業体となって事業を進めていくということである。」

○事務局

「補足で、西尾先生からネーミングライツの話があったが、残念な結果となってしまったが、引き続き検討していきたいと考えている。他にも小さな取り組みであるが、広告事業ということで、庁舎内のエレベータ内やトイレ内の空いているスペースに有料広告を載せる取り組みを始めた。また、市が使用している封筒にも有料広告を掲載し、印刷費用の4割を賄うことができおり、そのようなことも新たな工夫である。

また、民間提案制度については今年度3件、昨年度6件採択をした。成果では、昨年採択した事業で、電力会社の選定の工夫により年間600万円程削減することができた。それから、JR日光駅の市営駐車場については、民間事業者が運営に携わることで、カーシェアリング等の新たなサービスを生み出し有効に活用することができている。他にもグランピング事業等についても事業着手に向けて着々と動いているところである。このような成果は見せることで、西尾先生のご意見のとおり他の民間事業者が手を挙げるきっかけになると思う。先ほどの事務局からの説明の中にもあったとおり、他の事業者からの打診も多数あるため、一定の効果は得られていると感じている。」

議事内容

○委員長

「他にご質問やご意見等ございませんでしょうか…ご質問、ご意見等がないようですので、令和3年度公共施設マネジメントの進捗状況については以上といたします。」

○委員長

「では、次に公共施設マネジメント計画改訂につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。」

- (2) 公共施設マネジメント計画改訂について
事務局より資料を用いて説明。

○委員1

「人口が少ない地域の公共施設については、使われていない施設も多いと思われる。このままでは維持管理コストもかかってしまう。使われている施設と使っていない施設をしっかりと分けて、「縮充」を重要視して取り組んでいただきたい。」

○事務局

「人口減少が顕著である地域については、庁舎に機能を集約したりしているため比較的新しい施設もあるが、古い施設はそれ以上にあるため、今後は精査し、きちんと整理していきたいと考えている。」

○委員長

「他にご意見やご質問等ございませんでしょうか。無いようでしたら、西尾先生にご意見いただきたいと思えます。よろしくお願いします。」

○西尾アドバイザー

「素晴らしいと思うのが、計画策定時よりもしっかり延べ床面積を削減できているところである。全国的にみると延床面積がむしろ増えてしまっている自治体もある中、非常に頑張っているという印象を受ける。ただ、延床面積を減らしてはいるが、それ以上に人口減少が予想以上に進んでいるということで、逆に一人当たりの延床面積は増えてしまっている。また、財政状況も厳しいということで、資料を拝見するとかなり厳しい状況だなということが改めてわかった。

「縮充」として、どうやってまちの魅力を高めていくかということと一緒に考えていかないと、ただ施設を減らしていても、まちとしての魅力が減ってまた更に人口が減っていくということになり兼ねない。これからはまちづくりをどうしていくかということと併せて考えていく必要がある。また、今回の計画改訂では、地域別にかなり踏み込んでいる。細かく分析し、方向性を書いてあることが大きな特徴であると思う。他の自治体はここまで踏み込んでいない。踏み込めば踏み込むほど厳しい状況は明らかになるので出せないというのが他の自治体だが、あえて出しているところで、今後は地域別にまちづくりの観点も踏まえて進めていただきたい。また、今は主にハード面での記述が多いが、ソフト面・サービス面についても検討をして欲しい。今回、新たに「副次拠点」というキーワードも出てきたことから、それぞれの地域をどう魅力あるまちにしていくかという考え方を示していくことが必要となってくると思う。

それから、老朽化している施設が多いということも気になっている。30年以上経過した施設が59%まで増えているというところで、今まで以上に建物の安全性が気になってしまう。施設の劣化度等は把握していると思われるので、施設の安全性がどう担保されているのかをきちんと示し、

議事内容

必要な施設に必要な対策をとっていくことも重要である。」

○委員長

「他にご質問やご意見等ございませんでしょうか…ご質問、ご意見等がないようですので、公共施設マネジメント計画改訂については以上といたします。」

○委員長

「以上で、本日用意された議題につきましては、終了とさせていただきます。進行につきましては事務局にお返しいたします。」

○事務局

「ありがとうございました。次第のその他の事項について、ご案内させていただきます。」

4. その他

事務局より次の会議開催時期及び人事異動について事務連絡。

○事務局

「では、以上を持ちまして令和3年度第2回公共施設適正化推進市民委員会を終了させていただきます。」

以上